

日本原子力学会 シンポジウム

東京電力福島第一原子力発電所の廃炉 — 廃炉の論点と展望 —

日時：2018年3月18日(日) 13:30~17:00

場所：大手町サンケイプラザ 301-302号室

主催：一般社団法人 日本原子力学会

共催：福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会

協賛：一般社団法人 日本ロボット学会、公益社団法人 日本地震工学会

シンポジウムの趣旨

日本原子力学会は、2011年3月11日に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故からの復興と福島第一の廃炉を支援すべく、多くの学協会と共にその活動を支援して行かなければならないと決意し積極的に取り組んでまいりました。

特に、福島第一の事故炉の廃炉作業は、2021年から重要な汚染源である燃料デブリの原子炉、格納容器の中からの取り出しに取り掛かるべく準備を始める段階になりました。この活動は、世界でも初めての取り組みであり、様々な課題をもたらしています。

日本原子力学会は、福島第一原子力発電所廃炉検討委員会を設置して、この廃炉作業の課題の解決に学会の総力を挙げ、他の学協会とも連携して協力しているところです。

学会の役割の一つとして、また専門家集団として国民にこの問題を解説し、理解を得て行く責務があると考え、これまでも機会を得て取り組んでまいりました。このシンポジウムもその一環として定期的を開催して行こうと考えております。社会と共に廃炉の進展を見守るとともに、持てる技術力をすべて提供して強力に支援して行きたいと考えるものです。

今年で事故以来7年が経過しました。このシンポジウムでは、福島第一原子力発電所の廃炉における課題を解説し、問題点を共有するとともに、広く課題解決に向けた取り組みについてのご意見をいただき、今後の活動、廃炉事業に役立てたいと考えるものです。

プログラム

座長・・・関村直人（東京大学）

開会の挨拶・・・上坂 充（日本原子力学会会長、東京大学）

講演1：福島第一廃炉の論点と展望 宮野 廣（法政大学）

講演2：福島第一廃炉作業時の管理目標値について 山本章夫（名古屋大学）

講演3：より一層の安全確保に向けたリスク評価への取り組み
高田 孝（日本原子力研究開発機構）

休憩（10分）

講演4：ロボット技術への期待 新井民夫（技術研究組合国際廃炉研究開発機構）

講演5：建屋構造物の要求性能と課題 高田毅士（東京大学）

講演6：廃棄物はどのように取り扱うのか 柳原 敏（福井大学）

質疑対応と閉会の挨拶 （座長）

資料の公開

講演資料については、日本原子力学会のホームページ

[\(http://www.aesj.net/\)](http://www.aesj.net/)

にリンクされている福島第一原子力発電所廃炉検討委員会ページ

[\(http://www.aesj.net/activity/activity_for_fukushima/public\)](http://www.aesj.net/activity/activity_for_fukushima/public)

に公開します。